



アスンシオン通信

シーズン2

日付: 2025 年 10月31日 no.37

発行者: 田邊紘起

Hola a todos ! Como están?

日本では長く暑い夏が終わり、季節は秋冬へと向かっていますね。パラグアイから三次市の天気予報を見ていると、最低気温が10度以下になる日もあるようです。体がまだ寒さに慣れていないので、風邪などひかないように気をつけてください。パラグアイは今、暑い週と涼しい週が交互にあり、今週は暑い週なのでエアコンから涼しい風が出ています。そして家の周りの木々にはた

くさんのマンゴーの実がなり始めています。こんなに気温が変化するのに、いつも同じ時期に実をつけるのがすごいと思います。



家から見えるマンゴーの木にもびっしりと実がなっている=自宅 [10月26日]

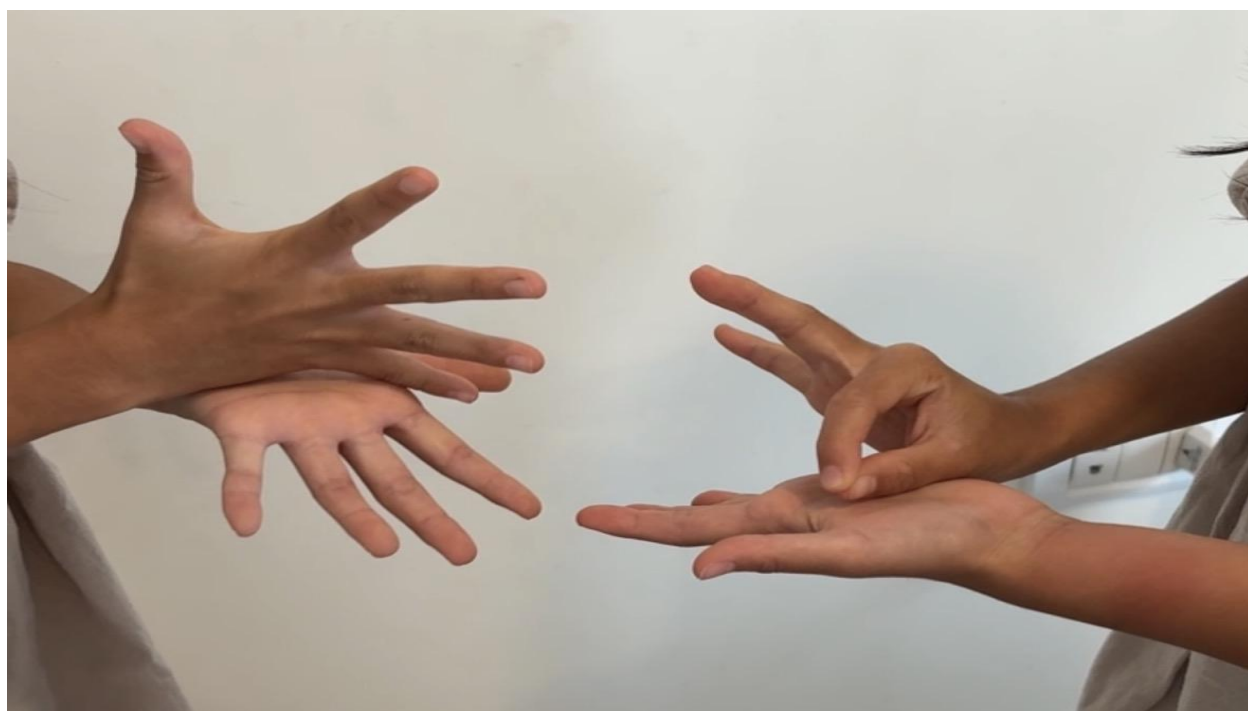
日本では、だれもが知っている遊び

今回は、パラグアイの手遊び「Jakembo（ハケンボー）」を紹介します。ローマ字で書くと、日本の「Jankenpon（じゃんけんぽん）」によく似た名前です。パラグアイのハケンボーは日本の「じゃんけん」が元になっていると言われています。ルールは日本とよく似ていますが、パラグアイの子に教えてもらった内容によると、日本式の「グー、チョキ、パー」に対してパラグアイでは、出し方が4つあるらしいです。日本ではよく「最初はグー」と声を合わせて言った後に「じゃんけんぽん！」と手を出しますよね。パラグアイの子供たちは、片手をグーにして、もう一方の手のひらの上におきます。これが準備オッケーの合図です。その後「ハー、ケーン」のリズムでグーを2回手のひらの上ではずませ、「ボ！」のタイミングで相手に出します。これをくり返すので、日本のように「あいこでしょ！…」とは続かず、「ハーケーンボ！ハーケーンボ！…」と一方が勝つまで続きます。

日本のじゃんけんの出し方は「グー」



「チョキ」「パー」の3種類ですね。パラグアイは「ピエドラ（石）：日本式のグー」「ティヘラ（ハサミ）：日本式のチョキ」「パペル（紙）：日本式のパー」という日本と同じ形のものに加えて「アニージョ（指輪）」という出し方があるそうです。アニージョは写真の右側の出し方です。オッケーのサインのような感じで出します。アニージョはティヘラ（チョキ）とパペル（パー）に勝ち、ピエドラ（グー）には負ける出し方のようです。理由は「チョキやパーにしたら指が伸びているので指輪が入る。グーは指を曲げているので指輪が入らない。」からだそうです。なんだかアニージョは2つの出し方（チョキとパー）に勝つので強い気がしますが、グーを出す時とのかけ引きが面白そうですね。



アニージョ（右）はパペル（左）に勝ちなので右の勝ち=自宅

日本から遠く離れたパラグアイの手遊び「ハケンボー」が、実は日本と関係があったり、独自のルールがあったりして、とても興味深かったです。ぜひ皆さんも、パラグアイ式じゃんけん「ハケンボー」で遊んでみてください。

タイトル写真について

今年初めに送った「ボリビア通信」で紹介したウユニ塩湖に行った時の夜空です。街灯がない真っ暗な塩の湖から見る空はとても星が近く感じました。三次の星空もきれいですよね。こちらは南半球のため、皆さんがいる北半球から見えない星もあります。

スペイン語・グアラニー語ひとこと講座

Puedo usar? (プエド ウサール) :使っていいですか?

何かを使ってもいいか人に訊く時は、puedo usar?と言えば「Si (スィー) いいよ！」って快く使わせてもらえるはずです。

次回について

次回は、日本でおなじみのあのジュースについて、パラグアイのは違いがあるのかどうか調べてみたいと思います。

Chao chao ! Hasta la próxima vez!